

平成 18 年度第 1 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 18 年 5 月 30 日 (火) 14 時 00 分 ~ 17 時 00 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス (アプロースタワー 14 階 1401 会議室)
3. 出席者 (順不同、敬称略)

京都大学人間環境学研究科・総合人間学部図書館	辰野 直子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	赤崎 久美
姫路獨協大学図書館	梶浦美千子
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
同志社大学総合情報センター	西山 智紗
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	杉山 宗武
関西学院大学図書館	中村 順治

欠席者 (敬称略)

和歌山県立医科大学図書館	南方 政英
--------------	-------

4. 議 事

1) 能力開発事業アンケートについて

まず、アンケートの最終集計を担当した石定委員からアンケート結果のレビューが行われ、次いで各委員がアンケート結果についての意見を述べた。主な意見は次のとおりであった。

- ・初任者研修の評価は高かったが、ずっと継続するのは困難を感じる。
- ・18年度も初任者研修を実施してもよいと思うが、工夫が必要との声がある。テーマを細切れにするのではなく大括りにするとか、講演を少なくするとかが必要ではないか。出された意見自体にはあまり新鮮味が感じられなかった。
- ・初任者研修は今年も実施する方がよい。カリキュラムの見直しが必要である。講師をどうするのか、経験1年未満と2年以上の区分が必要かなどの問題や、派遣職員を対象とすることへの疑問も出されていた。他大学の事例紹介や人的交流を深める内容が望ましい。テーマとしては著作権を入れてもよいかと思う。
- ・網羅的な内容への評価が高く、研修の意図が支持されていたと思う。
- ・初任者研修の成功が確認できた。できれば毎年続ける方がよいが、経験年数で縛らずに、1年目レベルに設定し、希望者は受け入れるようにしてはどうか。
- ・初任者研修が支持されてよかったが、カリキュラムの見直しが必要である。近畿イニシアならではという意味では見学などがあってもよいのではないかと。ILLや講演会のところで海外図書館事情を求める声が多かった。
- ・網羅的な内容でよいと評価されている。1年おきくらいで初任者研修、間に分野別研修を入れるのがよいかと思っていたが、結果は今年も初任者研修が必要であると思う。著作権のテーマは、文化庁の講習会等、他に2度も機会があるので省いては

どうか。

- ・受講者と異なる人の回答であるはずだが、やはり網羅的な内容が評価されている。初任者研修と分野別研修を隔年で実施するのがよいように思う。

2) 平成18年度以降の能力開発事業計画案について

次いで、平成18年度以降の能力開発事業計画の検討に入った。石定委員が作成した素案の説明があったが、1年度で2回の研修事業を実施するのは能力開発専門委員会組織単独では困難ではないか、中級分野別研修で図書館マネジメントを標榜するのは難しいのではないかと、などの意見が出された。また、毎年アンケートを実施してニーズの把握に努める必要がある、財政基盤問題も含め、当番館制にしてはどうか、ワーキンググループ設置問題、他組織との共催事業等、種々検討した結果、能力開発専門委員会として、

研修事業

研修事業を基礎研修（初任者研修または基礎的な分野別研修）、中級研修（基礎研修よりも高度な研修または高度な分野別研修）、その他の研修（対象を特定しない講演会やシンポジウム、他団体・他機関等との共催による研修等）の3区分とし、1事業年度内にこのうちの2つを実施することとする。基本的には初年度（平成18年度）は基礎研修1つとその他の研修1つ、次年度は中級研修1つとその他の研修1つの組み合わせで実施し、このパターンを繰り返す。

人材活用事業

近畿イニシア加盟館の人材を活用するための方策を検討し、実施する。具体的な案としては、加盟館に存在する人材登録バンクを構築して図書館関係の各種問い合わせ等に対応が可能なシステムを作ったり、各加盟館や地区内団体等が実施した研修等のデータベース（研修会名、テーマ、講師、演題、講師、所属等）を構築する。

アンケート

近畿イニシア加盟館のニーズを把握するために、毎年度なんらかの形でアンケートを実施し、翌年度の能力開発事業に反映させる。

近畿イニシア Web ページの活用

研修会の資料やアンケート結果の Web ページへの積極的な掲載を推進する。さらに上記人材登録バンクや研修データベース等についても Web ページでの展開を検討する。また、アンケートの方法もメール添付方式でなく Web を活用した回答、集計方式を検討する。

という案を運営委員会に提出することとした。

3) 大学図書館近畿イニシアタイプの英文名称について

杉山主査から、『情報の科学と技術』に近畿イニシアの記事を書く都合上、近畿イニシアの英文名称を決める必要があり、次回運営委員会の議題になるので検討して欲しいとの要請があった。検討の結果、次の3つを案として運営委員会に諮ることとした。

University Libraries Kinki-District Initiative

Kinki Initiative for University Libraries

Initiative for University Libraries in Kinki-District

4) 広報・Web専門委員会との連絡担当委員の選出について

運営委員会から、広報・Web専門委員会との連絡担当委員を決めてもらいたいとの要請があった旨、杉山主査から説明があり、検討の結果、石定委員が担当することとなった。

5) その他

- ・能力開発事業アンケートの結果については、集計結果の形式で問題なければ広報・Web専門委員会へ渡すこととした。
- ・公立大学協会図書館協議会と共催で行う研修事業に6名の応援依頼があった。
- ・次回専門委員会はメーリングリストで調整し、6月中を目途に開催することとした。

以上